



相撲 成年B
日景 清悦さん
(山神台)

プレッシャーをバネに優勝をねらう

国体のカテゴリーは？
成年Bです。チームは3人で先鋒は25歳未満、残り2人が教職員で構成されます。
相撲を始めたのはいつから？
小学校3年生からで、中学校では相撲部が無くて陸上(砲丸投げ)でした。その後、高校から相撲を続けてきました。
相撲の魅力は何ですか？
1対1の格闘技で、勝ち負けがはっきりするところですね。記録ではなく、相手と直接ぶつかり、勝つとうれしい、負けると悔しい。そこが良いですね。
相撲の難しいところは？
相手がいるということ。自分

の調子が良くても、相手はもっと良いかもしれない。駆け引きが難しい。立ち会いの前に勝負は始まっています。
普段の練習は？
仕事を終えてから、(ほとんど毎日)鷹巣農林高校に行って練習しています。毎日やらないと、コンディションを保つことができないですからね。
地元の国体に思い入れは？
大会を支えてくれている人や、たくさんの方の協力を熱意を感じます。それだけに「勝たねば」と、すごいプレッシャーも感じます。大きなプレッシャーを、良い方に感じて、試合に臨

めれば良いと思います。
これまでの戦歴は？
一昨年、昨年と2年連続で国体準優勝です。といっても、優勝に手が届く位置で、周りからは優勝が当然のように言われて、悔しい思いをしています。
今年の目標は？
わか杉国体の優勝に尽きます。優勝を2年連続逃してきた借りを返すためにも、プレッシャーに打ち勝って、ぜひ優勝したいと考えています。
現在のコンディションは？
身長180cm、体重120kg練習を重ねてコンディションを維持しています。



クレー射撃(トラップ)
佐藤 利秋さん
(柄沢)

競技人生の集大成として臨みたい

どんな競技ですか？
クレー射撃には、トラップ射撃とスキート射撃があります。トラップは、左右45度の範囲から飛び出す皿(的)を撃ち落とす競技です。試合は1ラウンド25発で4ラウンド、合計100発で競います。
競技を始めたきっかけは？
狩猟を目的に始めた射撃ですが、平成8年の全国大会に出場し、個人でAクラス3位、団体に2位に入りました。その後、次の目標を「クレー射撃」に決めて、正式競技を目指しました。
狩猟との違いは？
まるで別物です。狩猟は、獲

物と出会うかどうかが大きいです。競技は相手がいるので、気負いが出てしまいます。
クレー射撃の魅力は？
皿を撃ち落とすまでの時間は、早い人で0・6秒。極度の緊張感の中で、反応して撃つ緊張感がだいご味です。
クレー射撃の難しいところは？
自分の気持ちをいかに冷静に保つかが一番難しいですね。すべての的を無心で撃つことができれば、満点の可能性がります。しかし、結果が頭をよぎったりすると外れる。無心で、頭の中を真っ白にしておかないといけない。

国体までのスケジュールは？
春からの県の競技会で上位6人を選出。そのメンバーが7月の東北選手権に出場し、勝ち抜くと8月の東北総体、そして国体と進みます。
ズバリ、今年の目標は？
第1の目標は、東北選手権に出場する6人に入ることです。秋田県は、競技レベルが大変高いので、勝ち抜くのが大変なんです。年齢的にも、若い人と競争できるのはこれが最後かもしれないので、クレー射撃競技の集大成として臨みたいと思います。国体出場枠の3人に残れるように頑張りたいですね。